

東山動物園との協働事業「東山動物園検定」の紹介

奥村太基^{1,2}、久保統生^{1,2}、鈴木詩織^{1,2}、佐藤和哉¹、井上立也¹、柴田軒吾¹、櫻庭陽子¹、落合知美¹、堤創¹

(1.NPO法人東山動物園くらぶ 2.岐阜大学応用生物科学部)

はじめに

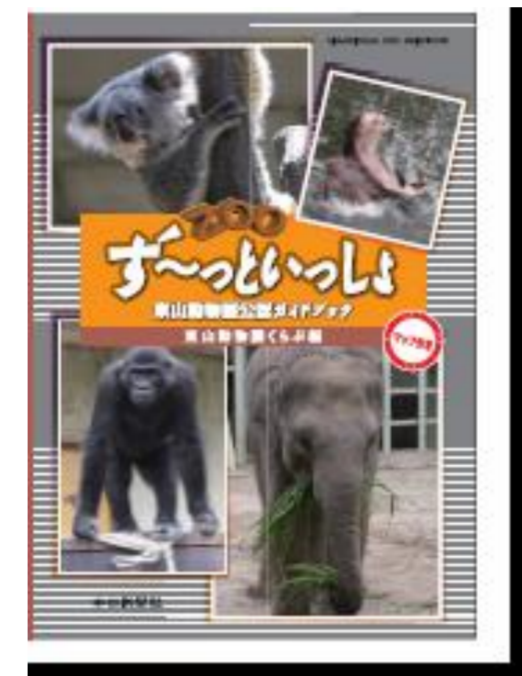
NPO法人東山動物園くらぶとは、市民の環境意識や社会貢献意識を高め、動物園の振興に寄与するため、名古屋市東山動物園を中心に市民参加型事業や普及・啓発・支援事業などをおこなっている団体である。

目的

東山動物園をより多くの市民が動物園や動物について知ってもらう環境教育の場として活用する。

方法

- 問題作成
 - 選抜 → 2012年3月25日に発売された東山動物園公認ガイドブックをもとに問題の選抜
 - 作成 → 当団体所属の専門家および学生が問題を作成
東山動物園が最終チェック
 - 分類 → 東山動物園の「歴史」、「個体情報」、「時事」、「施設」そして動物の「種」、「生態」に分類



東山動物園公認ガイドブック

〈当日スケジュール〉

12:30	受付開始
13:00	開会、説明
13:15	検定
14:10	講演およびバックヤードツアー
15:55	表彰式

- 検定期間、場所
日時: 2013年5月12日(日)
場所: 名古屋市東山動物園動物会館



検定チラシ

- 試験方法
対象年齢: 小学生以上
試験時間: 45分
問題: 4択の選択問題、計50問
解答方法: マークシート形式

● 体制

- | 動物園 | 東山動物園くらぶ |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> □ バックヤードツアー、講演内容提案 □ 問題チェック | <ul style="list-style-type: none"> □ 企画案の提案 □ 問題作成 □ 採点 □ 参加賞案提案 |
- 連携

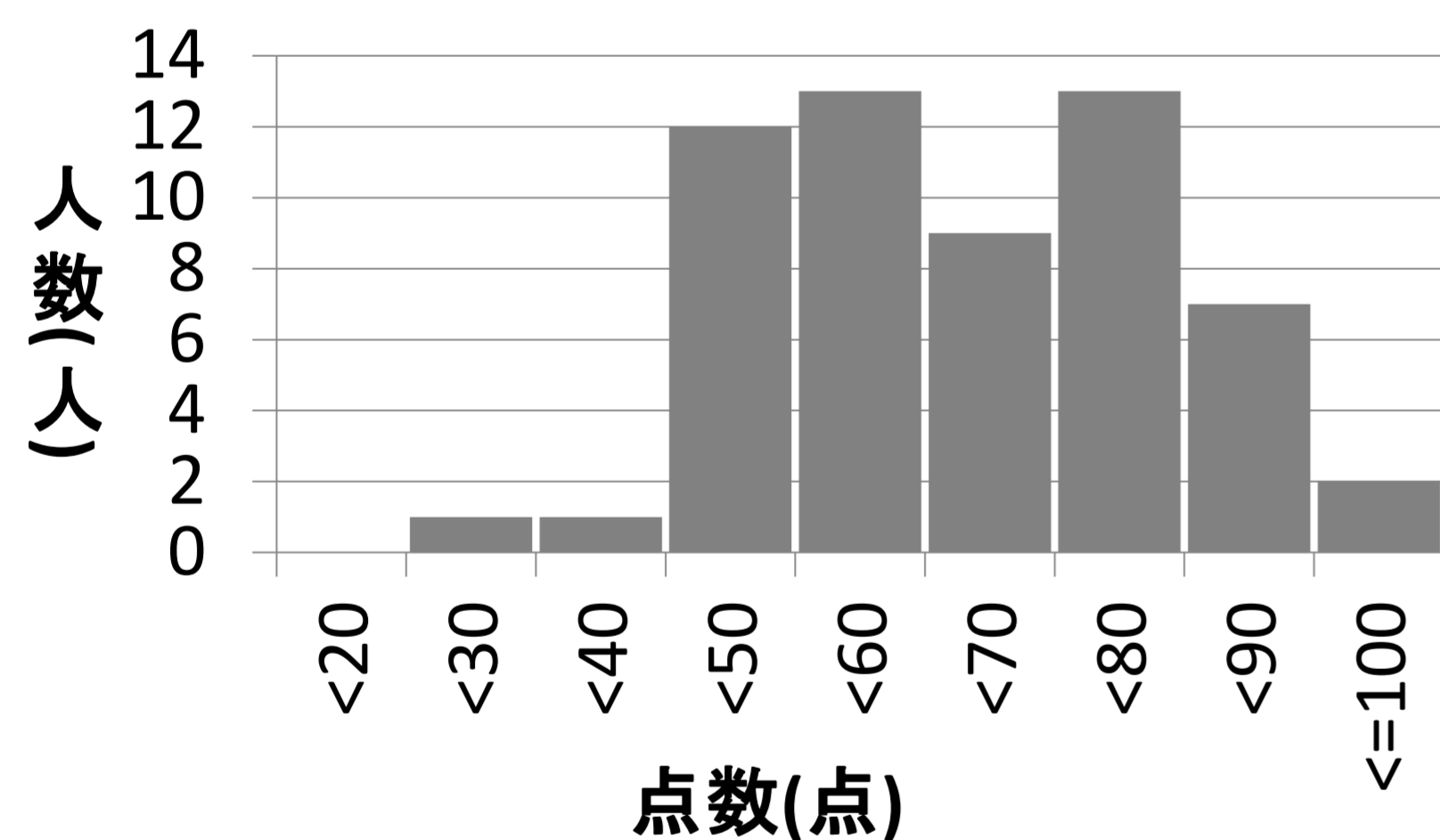
結果

● 検定分析結果

2013年度

参加年齢: 7歳~64歳
参加人数: 58人
得点範囲: 28~100点
平均点: 62.5点

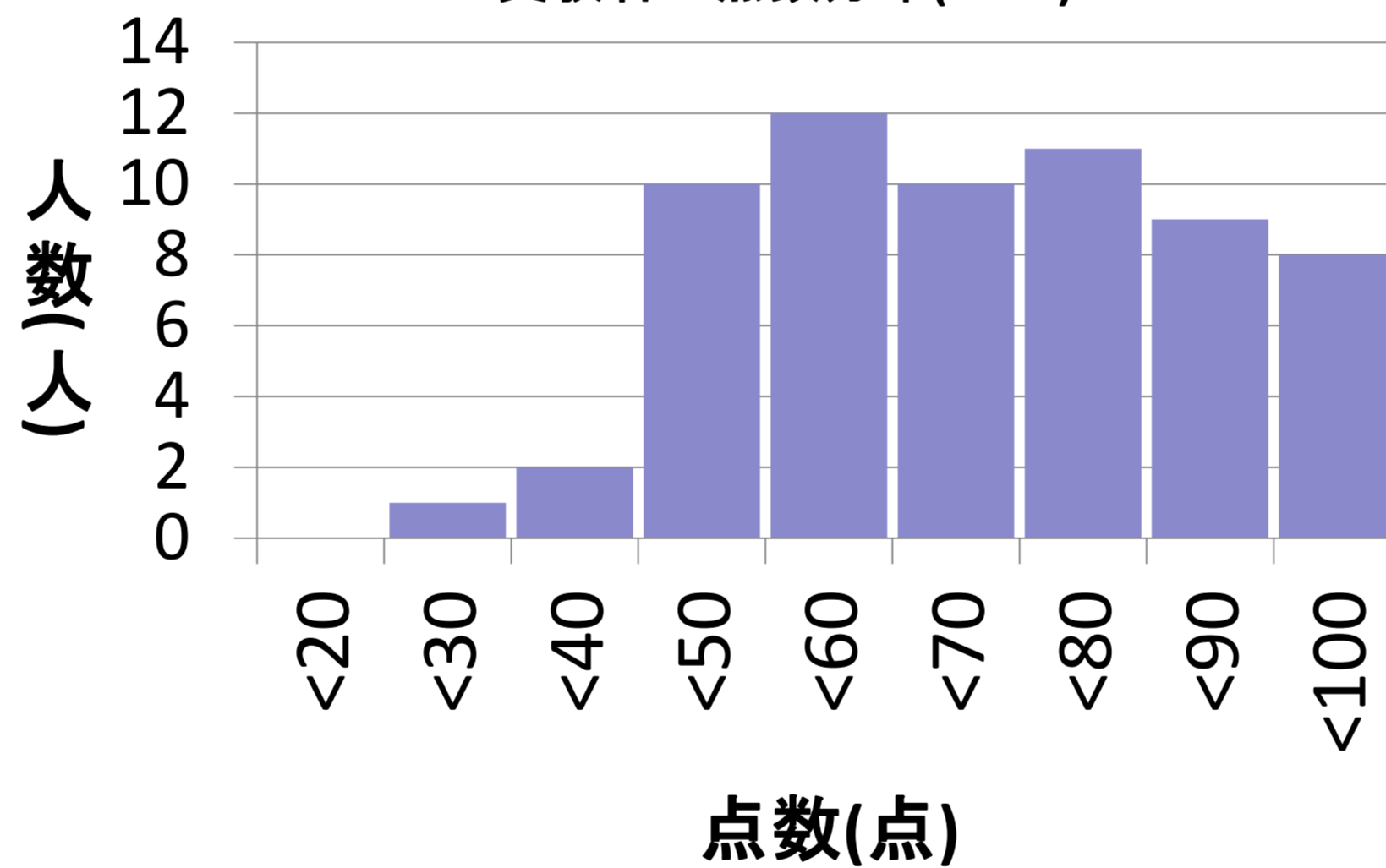
東山動物園検定における受験者の点数分布(2013)



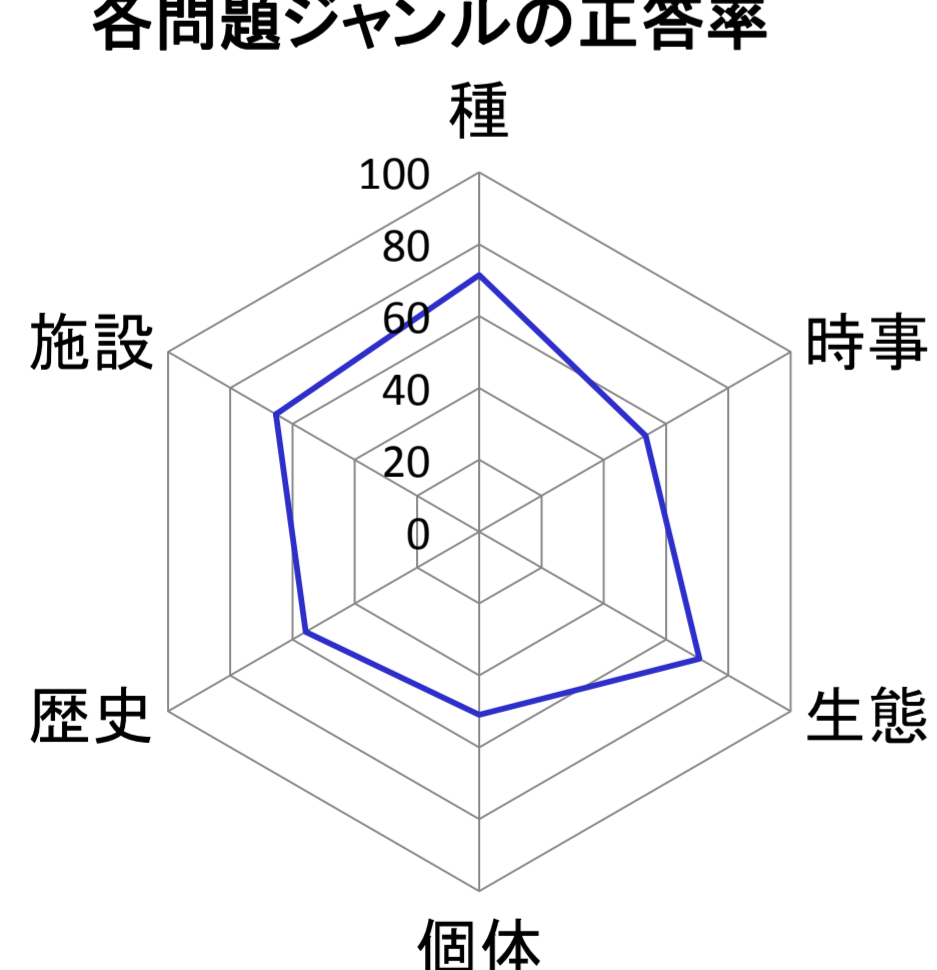
2012年度(参考)

参加年齢: 5歳~72歳
参加人数: 63人
得点範囲: 20~98点
平均点: 64.8点

東山動物園検定における受験者の点数分布(2012)



2013年度 各問題ジャンルの正答率



正答率が最も低かった問題
(正解率21%: 歴史)

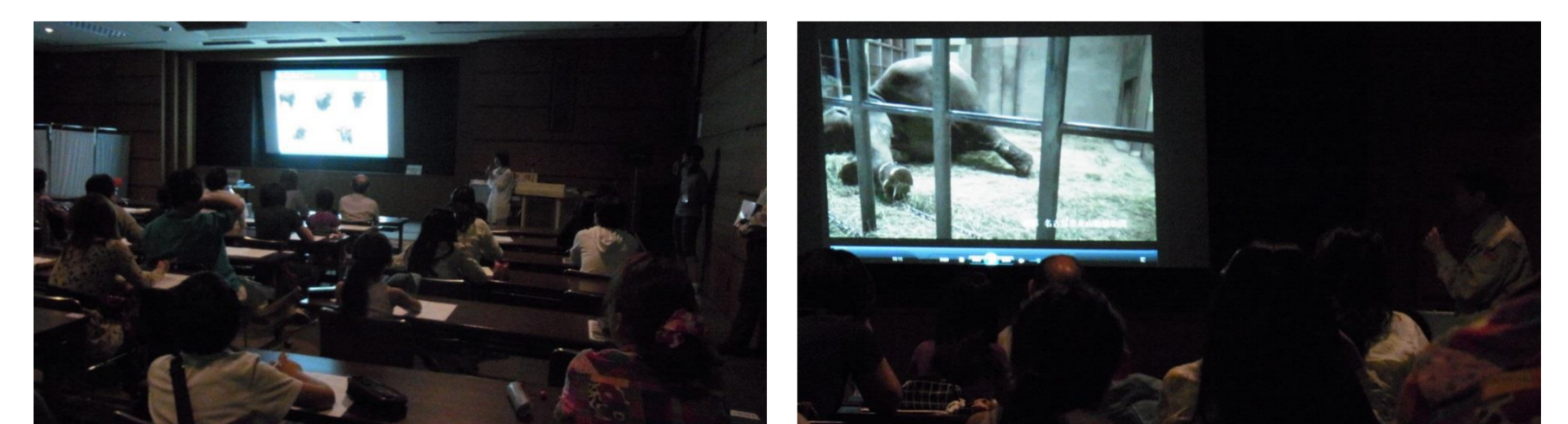
1949年にやってきた「ゾウ列車」
第1号はどこから来たでしょう?

- ①東京都 ②大阪府
- ③滋賀県 ④岐阜県

2年連続で参加した人は
全体の22%であった

● バックヤードツアー、講演

今回は東山動物園よりアジアゾウの出産映像の解説と、新アジアゾウ舎の見学をさせていただきました。
また、学生による問題解説もおこなった。



学生による解説

アジアゾウの出産映像の解説



新アジアゾウ舎の見学

表彰状授与の様子

今年は参加賞としてコアラのうんちペーパーの認定証が、上位8名には表彰状が渡された。



コアラのうんちペーパーの認定証

表彰状

考察

- ◆ 平均点は前回とあまり変わらなかったが、点数分布が変化することから高得点がとりにくくなったと考えられる。
- ◆ 昨年は「種」や「生態」のような正答率が高い問題が多かったが、今年はこのジャンルの問題数を減らし、「時事」や「歴史」のような正答率が低い問題数を増やしたため、点数分布に変化が見られたと思われる。

今後の展望

- 今年も、幅広い年齢層の方々に参加していただけたのでよかった。
- ジャンルに分けたことで、受験者の得点傾向がつかめたため、今後どのように変化するかを見ながら問題の質を向上させていきたい。
- 新たな受験者獲得を目指しつつ、もう一度受験してもらえるような工夫も考えていきたい。